



感染対策でマスク姿のいわさき貴博議員

今回質問  
した項目

- (コロナ対策)医療機関・介護事業所への支援
- 三密と避難所改善
- 公共交通の維持を

**回答**..野津原地域のバス路線廃止については、採算性、慢性的な運転者不足など、民間事業者のみでは解決できない課題を抱え、当該路線の維持は困難であると考えている。市としては路線廃止後の代替交通の検討を進めている。

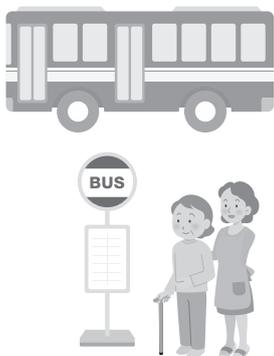
**質問**..野津原地域のバスが、10月より一部廃止になると聞いている。運転手不足、利用者数の低下など、仕方ない部分もあるが、地域からは「バスがない地域には住み続けられない。何とかして欲しい」などと、切実な声が寄せられている。市が積極的に財政支援をし、路線存続に全力を挙げるべきでは？

質問

野津原住民の

足を守って

今回の議会ではコロナで経営的な落ち込みが深刻な医療、介護事業者への支援強化について質問しました。その他、三密そのものの災害避難所の改善、10月より大分が廃止させる野津原地域の公共交通の維持について質問しました。



本来であれば、国、県がしっかりと当該路線の維持に責任を果たすべきと考えます。国の補助金は2011年の305億円から今年度の204億円に減額されています。地方の要望額の半分も満たしてはけません。要望に応える予算をただちに確保し、抜本拡充を国に要望すべきと訴えました。

**質問**..代替交通については、当該地域に定時定路線運行のコミュニティバスを走らせて欲しいとの要望が地域住民から出されている。見解は？

**回答**..バス減便に対し、同地区の代替交通については、全世帯アンケートを実施し、地元と協議を行っている。その中で、決められた路線、時刻に運行する「路線定期運行型」コミュニティバス」の運行について検討をしている。運行形態や運行回数などを今後策定し、事業者の決定や地元への周知など準備を進めてまいります。

いわさき貴博  
生活相談所  
公式Lineのご案内



コロナ問題のご相談もこちらから



岩崎貴博 公式ホームページ

<https://iwasakitakahiro.com/>



その他詳しい活動の内容は個人ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。(動画も公開中)



(他市の事例) 由布市を走るコミュニティバス



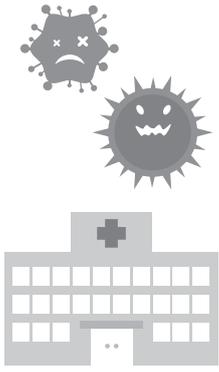
いわさき貴博議員

## 質問

### 病院への財政的支援を

**質問**・新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れたかどうかにかかわらず、全ての医療機関は経営的に圧迫されている。市内でも、昨年同時期と比べ、2割、3割と減収している医療機関が報告されている。経営的な医療崩壊を食い止めるためにも、しつかり財政支援を行い第二波、第三波に備えるべきである。そこで、昨年同実績の診療報酬の概算払い（返済不要）を国に要請し、医療機関を支えていく施策が必要と考えるが見解は？

**回答**・かつて、診療報酬の概算払いを、そのまま確定額としたものは、東日本大震災、熊本・大分地震などの災害時に特例的に認められたものはあるが、それは減収補填の性格を有するものではないと認識している。（減収補填策については）国の動向を注視していきたい。



**質問**・診療報酬の増額は考えないのか？

**回答**・現在新型コロナウイルス感染症に関するものとしてのみ、同感染症患者に対する診療報酬を3倍にするなどの対応を取っている（幅広い意味での診療報酬の増額要望は考えていない）。

なお中核市市長会では新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた場合における診療報酬上の臨時的な取り扱いについて、対象範囲を拡大するよう緊急要請を提出したところである。

今回のような限定的、コロナ患者対応分だけの部分的支援では、不十分と考えます。

千葉県野田市では、医療従事者への支援を実施しています。コロナに対応した病院の医師や看護師、事務員に1日6千円、4千円、2千円。それ以外の医療機関では、その規模により50万、40万、30万を手当として使うよう支給しました。5月から7月までの3ヶ月です。このような施策を行うよう、強く要望しました。

## 質問

### 災害避難所の改善を

**質問**・自然災害と感染症の流行が重なる事態への備えが急務と考える。避難所での発熱者等への対応として、平時より市営住宅の空戸を確保したり、ホテル・旅館を借り上げの協定を事前に結ぶなどし、災害時に迅速に「専用スペースの確保」が達成されるよう準備すべきと考える。見解は？

**回答**・県から「避難所における新型コロナウイルス感染症対策に伴う宿泊施設の利用について」の通知を受け、その中で、要支援・要介護認定を受



医療機関の支援などを市に要望

けている高齢者や基礎疾患のある方、妊娠をしている方など、避難生活において何らかの特別な配慮をするような方々について、大分県旅館ホテル生活衛生共同組合に加盟する事業者より、宿泊施設の提供の協力をいただくことになっている。現在市内40カ所の宿泊施設が加入する関連組合と、施設の利用方法などについて、協議を進めている。



三密状態の避難所

ホームページで  
詳しい議会質問・討論内容を公開中

日本共産党大分市議団

検索

